

# 平成21年度第1回富士見市行政経営戦略会議 会議録

日時：平成21年8月31日(月)  
午後4時～5時25分  
場所：市長公室

## 出欠状況

稲葉委員	尾島委員	境委員	中野委員	平井委員	福嶋委員	その他の出席者
						市長、副市長、教育長
事務局（政策財務課）		総合政策部長、政策財務課長、政策財務課主査、同主査				

内 容
<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 代表選出 境委員を代表として選出</p> <p>(2) 富士見市行政経営戦略会議の設置について 資料に基づき、事務局より説明</p> <p>質疑</p> <p>委員：戦略会議は、基本構想審議会や市民会議があるにもかかわらず、基本構想策定に関する議論を行うのか。戦略会議における議論がまったく必要ないとは言わないが、本来、必要性があっても、それが大きくない事業は止めるべきだと考える。</p> <p>事務局：審議会は市民主体で構成されているため、戦略会議からも意見をいただき、様々な角度から議論したいと考えている。</p> <p>委員：様々な角度から議論するのであれば、基本構想審議会等と合同で会議を開催すればよい。</p> <p>委員：資料4「第5次基本構想策定方針」は決定事項か。</p> <p>事務局：決定事項である。</p> <p>代表：基本構想策定における戦略会議の役割について、次回会議までに事務局において整理し、第2回会議にて検討してはどうか。</p> <p>委員：基本構想を策定するにあたり、現状分析から積み上げて議論することは必要だが、そうではない議論の仕方もあるのではないか。戦略会議で取扱うテーマは、現状分析の結果出てくるものでなくてよいと思う。また、市長が特に気になっている課題があれば、それを取り上げればよい。</p> <p>代表：基本構想策定にあたり、将来目標は市民が考え、そのための戦略を戦略会議が考えるというなら理解できる。</p> <p>委員：戦略会議は、基本構想策定の枠組みの外にあった方がよいのではないか。</p> <p>委員：戦略会議の位置付けはともかく、市民が決めたことに対し、戦略会議がアドバイ</p>

スをしていけばよいのではないか。

代 表：市民が決めたことがあるならよいが、実際にはそうになっていない。

基本構想策定に関する審議会、市民会議、戦略会議の役割について、マトリックスを作れば、戦略会議が「屋上屋を架す」ものなのか、別のミッションがあるのか見えてくると考える。

委 員：富士見市に対する理解度は、委員により異なるので、第2回会議で現状分析を行い、共通認識を持つということではよいのではないか。共通の認識を持った時点で各人がそれぞれの切り口で議論していけばよい。

代 表：それ以前の問題として、そもそも戦略会議自体が屋上屋を架すものであり、必要ないという意見がある。

委 員：基本構想審議会と平行して検討するのであれば、屋上屋を架すものであると言えるのではないか。

事務局：次回会議では、基本構想策定における戦略会議の役割分担について検討したい。

委 員：ブランド力がないと市はいつまでも変わらない。それに対してアドバイスをしていくのが戦略会議の役割であると考え、屋上屋を架すというものではなく、戦略会議はあってもよいと思う。

代 表：戦略会議のような専門的な知見に基づき、多少なりとも先進的な基本構想を策定したいという市の気持ちは理解できる。

また、市民意識調査を実施しているのであれば、次回会議までに調査結果を提供していただきたい。

委 員：戦略会議の会議録は情報公開しているのか。また、会議自体は公開なのか。

まちづくり推進課など基本構想の関係課が会議に出席することは可能なのか。

事務局：会議については、これまで非公開とし、会議録も積極的には公開してこなかったが、今後においては、関係課職員を出席させることも含め、戦略会議の場で決めていただければよいと考える。情報公開については、次回資料提供したい。

代 表：この件については、次回検討、決定したい。

### (3) その他

次回日程については、後日メール等にて調整することとなった。

## 6 閉会